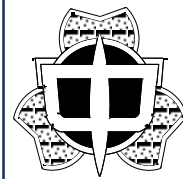


心、れ、あ、い

尼崎市立南武庫之荘中学校新聞
令和 5年 3月号
第 33 / 252号 Tel.6436-2241
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j17>
文責：屋敷 成治



〈校訓〉
*考える人になろう
*助け合う人になろう
*たくましい人になろう

旅立つ日に



早いもので2月13日が全学年そろった最後の朝礼となりました。思い起こせば3年前、コロナの影響で急ぎよ一斉休校が決まり、慌てて体育館で全校集会を開き、3年生の学年合唱を1・2年生、教職員みんなで聴いたのを昨日のこのように思い出します。この3年間、皆さんは感染防止に努めながら、本当に我慢強く頑張ってくれました。先生方は計画を何度も見直し、学びの場を止めないよう工夫して取り組んでくれました。おそらく、これまで私たちがチャレンジしてきたことは、どの学校にも負けていないと自負しています。そして、その実現に向けていつも温かく支えてくださった保護者、地域の皆様には感謝しかありません。

今、3年生は、私学や推薦、特色の入試が終わり、結果に一喜一憂しています。これまで4月になると学年がひとつ上がり、クラス替えでも必ず自分の名前がありました。ほとんどの3年生が初めて合格・不合格、自分の番号がある・ないというのを経験します。さらに、学校にもよりますが、高校に進学すると、遅刻を3回すれば欠席（欠課）扱いになったり、定期テストで30点以下なら追試（もう一度試験を受ける）になったり、それでも点が取れなければ進級できません。少し自由になる分、規則を守らなかつたり、問題を起こせば停学や退学などの処分を受けます。「自分の行動は自分で責任を持つ」ということです。中学校を卒業したら、「まあ、これぐらいはいいか」という甘えからも卒業しましょう。



さて、間もなく卒業する3年生は、コロナのため運動場で入学式を行い、様々な制限の中、勉強や行事、部活動に取り組む姿はとても立派でした。一人一台端末が学校に導入されてから、文字を書くという作業

が以前に比べ少なくなりました。3年生は、国語科を中心にNIE（新聞を教材として活用する活動）を取り入れ、言語能力や情報活用力の育成に力を入れてきました。新聞記事を要約し、グループ討議を繰り返し、ノートにまとめて発表し、地球温暖化や森林破壊、SDGs、いじめ、SNSなどのテーマに意欲的に取り組んでくれました。

成果として、表現力や創造力、協力して課題を解決する力が身につく、結果として学力も向上しました。入試前に面接練習をしても、うわべの暗記した答えでなく、しっかりと自分の考えが述べられる生徒が多いのに驚きました。また練習にも熱心で、校長面接を何度も申し込んでくる生徒もいました。面接や作文が中心の推薦、特色入試では、3年間地道に取り組んできた結果が顕著に出ました。

1・2年生の皆さんは、旅立つ卒業生の背中を見て、本校の良き伝統を受け継いでください。

部活動などの表彰



令和4年度尼崎市長旗杯

- ・第3位：女子卓球部
- ・第3位：男子バレーボール部 阪神大会出場

第50回兵庫県東阪神地区アンサンブルコンテスト

- ・管楽8重奏 銀賞：2年
- ・管楽5重奏 金賞：1年

第20回契沖顕彰短歌大会

- ・尼崎市長賞：2年 蓑田
- 「嫌なこと大海原にとけてゆく見なれた海に糸たれながら」
- ・契沖賞：2年 伊藤、笠原、廣瀬
- ・山の井賞：2年 木村、松本、加藤、島端、竹内、前田
- ※尼崎出身の国学者で江戸時代に活躍した歌人契沖に因んだ短歌大会

兵庫県中学校ゴルフ選手権秋季大会

- ・優勝：2年 山田龍



第62回全国公募日本書道芸術院展

- ・会長賞：2年 島田
- ・兵庫県知事賞：2年 喜多村
- ・兵庫県教育委員会賞：2年 高橋愛
- ・尼崎市長賞：3年 大河内駿
- ・宝塚市長賞：3年 池添
- ・日本書道芸術院賞：3年 平川、楨
- 2年 中村
- 1年 大河内

立花地区ピクトグラムコンテスト

- ・優秀賞：2年 谷口



青少年健全育成・非行防止標語

- ・入選：3年 上田「一度だけ 軽い気持ちが 呼ぶ悪魔」
- ・佳作：3年 中小路, 2年 蓑田
- ・努力：3年 竹崎, 佐々木匠, 上田詩, 2年 安井, 濱本
- 1年 塚本

第26回尼っ子スピーチフェスティバル

- ・佳作：1年 高野



表彰で思うこと：私事ながら先日、斎藤兵庫 県知事から教育功労者賞をいただきました。いつもは渡す立場で、生徒の皆さんの誇らしいような恥ずかしいような表情を楽しみにしているのですが、自分自身の表彰は何十年振りのことでしょうか。何歳になっても表彰されるのは、嬉しいものです。若いころと違って、これまで支え・応援して下さった皆さんへ素直に感謝の気持ちを伝えることができました。

お礼申し上げます

まもなく第49期卒業生が、大海原に旅立とうとしています。保護者や地域の皆様におかれましては、子どもたちが今後も自信と誇りをもって生きていくことができますよう引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

また、皆様には学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。靴下の色の検討をはじめ、頂いたご意見を真摯に受け止め、今後も改善に努めてまいります。

子育てや教育は、時間が掛る割にすぐ結果に結びつかないことがよくあります。例えば、学力を上げるのは、ひたすら演習問題をさせればいいわけではありません。学級活動や学校行事、部活動など様々な体験を通して集団作りが行われ、その中で子どもたちは挑戦や失敗を繰り返しながら仲間と共に協力し、新たな目標をもち、自ら課題解決に向かっていきます。良い集団であればあるほど、心身ともに大きく成長し、真の学力が身につきます。



どんなに世の中が変化しても、時間や愛情、ひと手間を惜しまず、保護者、地域の方々と力を合わせ、子どもたちがくじけそうになった時に寄り添い、温かい手を差し伸べ、成長を支えていきたいと思っています。